

肺炎球菌ワクチンとは？

肺炎球菌ワクチンとは、肺炎球菌によって引き起こされるいろいろな病気（感染症）を予防するためのワクチンです。

けれども、肺炎球菌には90種以上の型がありますが、主に成人を対象とした肺炎球菌ワクチンはこのうち23種類の型に効果があります。この23種類は実際に肺炎などの原因となっている肺炎球菌の型のうち8割以上を占めています。そのほかの型、もしくは肺炎球菌以外の原因による感染症にはこのワクチンは効果がありません。また赤ちゃんや小さなお子さんには、このワクチンを接種しても効果がないことが知られています。高齢者では、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを両方接種することで、インフルエンザシーズンの肺炎や死亡を抑えることが報告されています。

しかし、インフルエンザシーズンにおける細菌性肺炎全体の50～60%は肺炎球菌によって引き起こされています。インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを両方接種することでインフルエンザシーズンの肺炎や死亡を抑えることにつながります。

次のような方に、ワクチン接種をおすすめします。

1. 高齢者の方（65歳以上）
2. 腎不全や肝機能障害のある方
3. 脾臓を摘出されている方
4. 心臓や呼吸器に慢性疾患がある方
5. 糖尿病の方
6. 養護老人ホームや長期療養施設などの居住者など

笠寺病院では肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施しております。

1. 下記の対象者は助成をうけることができます。

次の(1)から(3)を満たす方

(1)名古屋市に住民登録または外国人登録のある方

(2)65歳以上の方

(3)過去5年以内に肺炎球菌の予防接種を受けていない方

2. 自己負担金

・一般の方 8400円

・助成がある場合 4000円

(脾臓の摘出により健康保険が適用される方や、公害補償制度が適応となる方は、この助成制度より安価に接種を受けることができる場合がありますのでご注意ください。)

◇1年中どの時期に接種してもよく、効果の持続は接種後約5年とされています。

3. お問い合わせ

内科外来又は総合受付

TEL (052) 811-1151

2011年12月5日

医療法人 笠寺病院